

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、

# 『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』

の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



# 山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2014年8月8日 NO.5-1/3(夏休み特集)

岩手県立宮古工業高等学校 校報(発行者 校長)

## ■進路達成に向けて（求人状況等を含め）

年度	県外	県内	管内	合計
H26	225	24	85	334
H25	202	18	65	285

### 【表1】求人状況（昨年度と今年度の比較：7月23日現在）

7月1日より求人票の受付が開始となり、本校にも多くの方が来校しています。7月23日（水）現在の求人状況は【表1】のとおりです。下段は昨年同期の求人数となります。件数では49件増えました。これは、昨年度に比較すると17%の増加となります。ところで、夏休み中に職場見学に行った皆さんは、就職に対する意識がかなり高まっていると思います。夏休み明けには、皆さんが作成した「応募書類」を担任の先生の指導の下、完璧なものに仕上げる作業が控えています。書き直した回数に比例してその完成度が高まります。決して短気を起こさずあきらめず、自分の言葉で簡潔明瞭に書きましょう。



併せて、本校進路指導部が発行している『進路通信』を熟読吟味しましょう。その中には「就職者推薦基準」など役立つ情報が満載です。

さて、「(Time flies like an arrow!!)」早いもので、東日本大震災から3年5ヶ月が経過しました。この間、全国からの支援等により、本校は復旧・復興に向け、着実にその歩みを進めてきました。そして、先輩及び同窓生諸氏の活躍や本校教職員による献身的な努力が功を奏し、就職・進学ともに素晴らしい成果を納めてきました。今年度の進路目標達成に向け、本校の新しい歴史を創り出すのは3年生諸君です。これからでも伸ばせるものはたくさんあります。

万全の準備をして就職試験に臨みましょう。

また、大学指定校推薦を希望する生徒諸君は、入学後の大学生活をより充実したものにするため、専門教科はもとより、国数英などの基礎学力をより一層充実させてください。そのために先生方は寸暇を惜しんで応援・協力してくれるはずです。

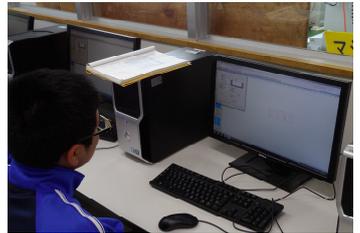
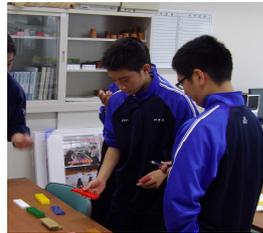
## ☆ 8月(夏休み開けを含む)の主な行事 ☆

7	(木)	内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官 小泉進次郎氏来校(14:30~15:30)
18	(月)	授業始め式 休み明けテスト 安全点検
19	(火)	スクールカウンセラー来校 (8/29(金)SC)
22	(金)	全国高P連(福井)~8/23(土) 数学検定
26	(火)	遠野緑峰高校来校(復興交流推進事業)
9月16日		★就職試験スタート!!

## 津軽石中学校生徒 17名 本校にて実習体験!!

【2014/7/3実施】

津軽石中学校の生徒17名が7月3日(木)本校を訪れました。これは、同中学校が総合的な学習の時間を活用し、宮古地区で将来工業に関わる技術者を目指すとともに、ものづくりに携わろうとする生徒の見識を広げさせることを目的として本校に実施依頼があったものです。中学生諸君は、13時30分から2時間かけて、本校実習棟の様々な機器を活用し、「ものづくり」にチャレンジしました。機械科では①「マシニングセンターを利用したアクリル板加工」②「フライス盤を使用した文鎮の製作」、電気電子科では「シーケンス制御入門」、そして、建築設備科では「建築配管作業」を、事前に中学生に希望調査を行い実施しました。(図1~図4) 女性技術者が多くの企業で大活躍しています。中学生の皆さんが、志をもって本校に入学してくれることを教職員一同期待しております。



【図1】氏名入りアクリル板加工(コンピュータとマシニングセンターを利用)



【図2】文鎮の製作(コンピュータで図面作成、フライス盤で加工)



【図3】シーケンス制御入門(女子生徒は5名参加)



【図4】建築配管作業の様子(水道配管の一部を製作)

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、

『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』

の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。

## 2回戦突破!! 3回戦へ 「本校野球部3年ぶりの校歌」 第96回全国高等学校 野球選手権 岩手大会

【2014/7/16 森山球場 7/18 花巻球場】

### I 2回戦【対一関高専 7/16(水) 森山球場】

本校は、効率よく得点を積み重ね、初回には平石君の適時打で先制し流れを呼び込みました。2回には犠打や犠飛を絡めて2点を追加し、4回には主将の有谷君がポール直撃の3点本塁打を放つなど計4点を加えました。そして7回表までに9安打、8点を奪う猛攻をみせ、一関高専の反撃を1点に抑え、7回コールドで勝利しました。

第2試合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
一関高専	0	0	0	0	0	0	1			1
宮古工業	1	2	0	4	1	0	x			8

【図5】対一関高専（2回戦）のスコア



【図6】4回に3点本塁打を放った有谷君



【図7】監督から指示を受ける本校選手



【図8】(左)全校応援 (右)本校応援団長

### II 3回戦【対福岡高校 7/18(金) 花巻球場】

本校は、7回表までリード校である福岡高校とベスト16を目指し、1点を争う好ゲームを展開しました。本校に勤務経験がある2人の先生が応援に訪れ、選手の成長を褒めていました。さらに、「選手・保護者・スタンドが一体となったすばらしい試合でした」とも話していました。

この夏の2試合を通じて、対戦校の応援のすばらしさを経験できたことは大きな収穫の一つでした。是非とも今後の参考にしましょう。

第2試合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
宮古工業	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
福岡	1	1	0	0	0	0	5	0	x	7

【図9】対福岡高校（3回戦）のスコア

## 赤前小学校での出前授業 小学校4年生理科「電気のはたらき」 「本校電気電子科生徒7名」

【2014/7/22 赤前小学校】

平成26年度、電気電子科は「出前授業」を課題研究の一つのテーマに選びました。小学校4年生の単元名“電気のはたらき”における「教材開発」とそれらを用いた「授業展開」を中心に研究を進めています。この単元の目標は次のとおりです。

『乾電池にモーターをつなぎ、モーターを回すなかで、モーターの回る向きや速さに興味をもち、乾電池の数やつなぎ方と電流の向きや強さとの関係を意欲的に調べ、電流の向きを変えると、モーターの回転する向きが変わることや、乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の強さが変わり、モーターの回る速さや豆電球の明るさが変わることなどをとらえることができるようにする。また、光電池を使ってモーターを回すことなどができることをとらえ、乾電池や光電池で動く自動車をつくることのできるようにする』

出前授業班の生徒は、パワーポイントを利用した



授業の様子

た視覚教材、電流の向きを分かりやすく説明する教材、ペットボトルを使った直列・並列のモデル実験装置、

そして乾電池で動く自動車づくり等、単元の目標に沿うよう、赤前小学校の副校長先生と緊密に連携を取りながら進めました。当日は、本校生徒が授業者を務め、児童が考えたことをすぐに実験で確かめながら、「ものづくり」へと授業を展開できました。赤前小学校の皆様にご心より感謝します。



電気の流れをイメージしてみよう!

【図10】ペットボトルを使った直列・並列のモデル実験装置



【図11】乾電池で動く自動車模型の製作



【図12】真剣な表情で自動車模型を組み立てる児童